

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

(平成28年10月解析分)

1 今月のトピックス

■ 10月1日からB型肝炎ワクチンの定期接種が始まりました

(1) 対象者

平成28年4月1日以降に生まれた0歳児

※母子感染予防としてB型肝炎ワクチンを接種したことがある人は対象外です。

(2) 接種回数

1歳になる前に3回 ※1歳になると定期接種の対象外となりますのでご注意ください。

(3) 接種間隔

27日以上の間隔をおいて2回接種した後、1回目の注射から139日以上の間隔をおいて1回

※標準的な接種時期は、1回目生後2か月、2回目生後3か月、3回目生後7～8か月とされています。

3回目の接種を終えるまでには、おおよそ半年間かかるため、1歳になるまでにすべての接種を終えるためには、接種スケジュールの管理が重要になってきます。

特に4～5月生まれの方で、10月の定期接種開始後初めて接種を受けられる場合は、10月時点ですでに生後5～6か月が経過しているため、主治医の先生と相談しながら、接種の機会を逃さないようご注意ください。



詳細はお住まいの市町の予防接種担当課へお問い合わせください。

広島県 B型肝炎ワクチン

検索

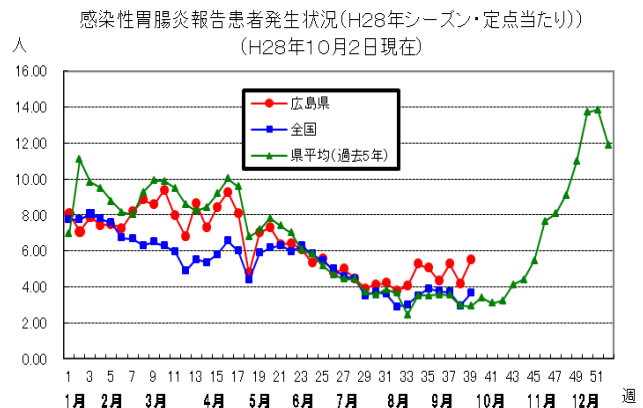


■ 感染性胃腸炎 ～冬に向けて注意しましょう～

感染性胃腸炎は、ウイルスや細菌などを原因として、下痢や嘔吐などの症状が出る感染症です。

秋から冬にかけて流行するものの多くはウイルスが原因であり、これからの時期は、ノロウイルスやロタウイルスによるものが増加します。

予防対策を徹底し、感染拡大の防止に努めましょう。



【予防方法】

- 1 石けん、流水で、手洗いを、こまめにしていねいに行いましょう。
- 2 食品は十分に加熱しましょう。
- 3 患者の便や吐物を処理する際は、手袋を使って処理し、汚染箇所は次亜塩素酸ナトリウムでしっかり消毒しましょう。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成28年9月分(平成28年9月5日～平成28年10月2日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	32	0.07	0.02	↑	11	ヘルパンギーナ	77	0.27	0.56	↓
2	RSウイルス感染症	327	1.14	1.29	↗	12	流行性耳下腺炎	288	1.00	0.53	↗
3	咽頭結膜熱	164	0.57	0.39	→	13	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	436	1.51	1.01	↗	14	流行性角結膜炎	90	1.18	0.99	↗
5	感染性胃腸炎	1,385	4.81	3.12	→	15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
6	水痘	86	0.30	0.54	↓	16	無菌性髄膜炎	1	0.01	0.06	
7	手足口病	99	0.34	1.76	↑	17	マイコプラズマ肺炎	39	0.46	0.26	↓
8	伝染性紅斑	60	0.21	0.16	↓	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	130	0.45	0.46	→	19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	—	
10	百日咳	18	0.06	0.05	↗						

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成28年9月分(9月1日～9月30日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	53	2.30	2.32	↗	24	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	67	3.19	4.34	↗
21	性器ヘルペスウイルス感染症	24	1.04	0.58	↗	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	9	0.43	0.41	↓
22	尖圭コンジローマ	17	0.74	0.67	↗	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0.05	0.06	
23	淋菌感染症	22	0.96	0.96	↓						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

急増減疾患!!(定点当たり前比2倍以上増減)

- 急増疾患 **インフルエンザ** (0.01 → 0.07)
手足口病 (0.13 → 0.34)
- 急減疾患 なし

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患、月報対象7疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	42	結核(42)〔西部保健所(6)、西部東保健所(1)、東部保健所(7)、北部保健所(1)、広島市保健所(12)、呉市保健所(8)、福山市保健所(7)〕
三類	8	腸管出血性大腸菌感染症(8)〔東部保健所(1)、北部保健所(1)、広島市保健所(2)、福山市保健所(4)〕
四類	13	E型肝炎(1)〔北部保健所(1)〕、デング熱(4)〔広島市保健所(2)、呉市保健所(1)、福山市保健所(1)〕、レジオネラ症(3)〔広島市保健所(3)〕、重症熱性血小板減少症候群(1)〔広島市保健所(1)〕、日本紅斑熱(4)〔東部保健所(2)、呉市保健所(1)、福山市保健所(1)〕
五類全数	21	アメーバ赤痢(1)〔福山市保健所(1)〕、ウイルス性肝炎(A型、E型を除く)(1)〔西部保健所(1)〕、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(6)〔西部保健所(1)、東部保健所(2)、広島市保健所(1)、呉市保健所(2)〕、急性脳炎(2)〔東部保健所(1)、福山市保健所(1)〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕、後天性免疫不全症候群(1)〔広島市保健所(1)〕、侵襲性肺炎球菌感染症(3)〔福山市保健所(3)〕、梅毒(3)〔西部保健所(1)、東部保健所(1)、広島市保健所(1)〕、破傷風(2)〔広島市保健所(2)〕、薬剤耐性アシネトバクター感染症(1)〔北部保健所(1)〕